



フィンランド「レソナーリ」のバンドメンバーです♪

こざくら

NO.65 2010・8



銀メダリスト永瀬さんが来園しました☆

ギリシャ不安から生じたユーロ不安などにおいて一層厳しい状況のなかで、七月十一日に参議院選挙が行われました。どの政党が日本の将来を一番考えているのか、各政党のマニフェストを国民が注視した選挙は、衆議院選挙とは逆の結果となり、今後の国政がどうなるのか心配しております。

私たちにおいては、福祉事業者がご利用者の方達に対してより良い福祉サービスを提供し、そして、福祉の現場で働く人達が夢と希望を持って、働ける職場になる制度に見直しが図られることに大きな期待をしています。そのためには、施設経営は、より慎重な運営を図るのは勿論のこと更に踏み込んだコスト削減、経営体質の合理化、職員の高いモチベーションを実現し安定した事業を推進することが必要と考えています。

平成十五年度に支援費制度となり、措置から利用契約の時代、そして、平成十八年に「障害者自立支援法」が施行されました。昨年の夏の総選挙で政権交代した民主党のマニフェストに、この法を廃止して、新たに「障がい者総合福祉法(仮称)」を制定するとあります。現在、「障がい者制度改革推進会議」において当事者を入れた検討が進められ、新しい制度作りが始まっています。平成二十五年夏ごろには、新しい仕組みが出来ると聞いています。サービスを提供する側も受ける側も期待することは、より良い制度になることを願っています。

国の動向などを踏まえながら、平成二十四年三月に新事業体系に移行したく準備を行っています。今後も、多くの情報を収集しながら利用者定員、地域生活の場の確保、障害程度区分に応じたサービス内容、居住環境の問題などを解決しなければなりません。新事業体系の移行は事業所だけで取り組むことは出来ませんので、ご利用者をはじめご家族、関係機関の皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

(志戸田)

各種行事報告



春季一時帰省	1～4日
花見会(鹿追町)	18日
未帰省者外出(富良野市内)	20日
5月誕生会	25日
余暇外出(旭山動物園)	20・26・27日

花見会



余暇外出



5月

未帰省者外出

合同防火・消防訓練	11日
幾寅小学校運動会交流事業 プロ野球観戦(札幌市)	13日
町外ショッピング(帯広市)	15・17・22日
一泊旅行 第1班(札幌近郊)	24～25日
交通安全教室	25日
北・北海道施設協ソフトホール大会	25日
6月誕生会	29日



6月誕生会

プロ野球観戦



合同防火・消防訓練



6月



平成22年度 大乗会スポ・レク交流会 こざくら園『家族の会』総会	3日
あすなろ・レソナーリ交流ミニコンサート	6日
自活訓練者町外外出(リーフ) 帯広市	13日
自活訓練者町外外出(ウイズ) 帯広市	14日
かなやま湖湖水祭り	25日
7月誕生会	27日
パークゴルフ大会(旭川市)	29日
一泊旅行 第2班(札幌近郊)	22~23日
一泊旅行 第3班(札幌近郊)	29~30日

自活訓練者町外外出



パークゴルフ大会

かなやま湖湖水祭り



7月

スポ・レク交流会

七月三日(土)に、からまつ園と合同でスポ・レク交流会を開催いたしました。当日は、残念ながら天候に恵まれず、町民体育館での開催となりましたが、雨に負けない元気で笑顔で皆さん参加されていました。

特に今年は、今までの運動会的な競技種目からご利用者に負担の掛からない内容で地域の皆様方にも楽しんでいただける競技にしたり、一部競技内容の見直しを図り、二十九回開催してきた体育祭の名称をスポ・レク交流会に変更しました。

今回、新しく取り入れた競技は、体力を必要とする徒競走等の個人競技からチームで競い合う三種目(助っ人競走・虹色タワー・つなげてドン)を追加しました。新しい競技が多いことから計画的に練習日程を組みましたが、天候不良より予定通りに練習できず本番の日を心配しましたが、各競技大きなトラブル等なく楽しくスムーズに進み、ご利用者からは「楽しかった」と多く聞かれホッとしました。また、毎年盛り上がる四色リレーはピンポン玉をおたまで運ぶルールに変えたことで室内でも安全に競技を進めることができ、ご利用者・職員共々目の色を変えてピンポン玉とおたまを見ながら走っていました。

今年の経験を踏まえて、来年度に向け競技内容の検証を行い、利用者自治会「虹の会」の意見を聞くことで充実した内容にしておく考えています。

初めてのスポ・レク交流会が無事に終えることが出来たのは、地域の皆様やご家族の皆様、そしてGH等で地域生活されている方の「ウイズユーザー」のご協力とご理解をいただきました。ありがとうございました。ありがとうございます。

(坂井・川嶋)



新製品販売

今年度より、印刷班で「卓上カレンダー」の製作に取り組んでいます。

卓上カレンダー製作のきっかけは、幾寅郵便局の小林裕幸局長からの提案で、「ご利用者の仕事の一環と作業工賃に繁栄するのであれば、是非、作品を提供したい」というお話から始まり、このたび実現しました。卓上カレンダーは小林局長が毛筆で一枚一枚丁寧に自作の詩と絵を描いた作品です。印刷班では卓上カレンダーの製作は初めてのことで、ご利用者にどのように作業に取り組んでもらうか試行錯誤しました。現在では、ご利用者に合わせた道具に一部加工することで職員の介助なく台紙に穴を開けたり、リング通しを行い製品化されています。最初は苦戦していたようですが、熱心に取り組んでいることから日に日に上達し、一日に五十部ほど製造できるまでに至っています。これからも多くのご利用者が携われるような仕組みを考えとともに、ご利用者の描いた作品も載せた商品に繋げていきたいと考えております。

販売は七月一日よりこざくら園、森のパン屋、南富良野町道の駅をはじめ町内外の各店舗で販売しています。また地方の方はホームページをご覧くださいれば、購入できますのでよろしく願います。

商品名

ひめくりカレンダー

一冊 六〇〇円



家族の会総会

七月三日(土)に、平成二十二年度こざくら園家族の会総会が開催されました。総会は、例年多くのご家族の皆様が集まるスポ・レク交流会開催日の午後に行っています。

本年度の採用職員及び異動職員の紹介を行った後、家族の会及び喫茶店「りとる」に係る平成二十一年度事業実績報告・収支決算と平成二十二年度事業計画・収支予算、そして、施設の近況と障害者自立支援法の情報提供などの八議案を上程し、事務局より説明を行いました。各議案出席された会員の皆様に審議をいただいた結果、全ての議案において提案とおりの内容でご承認をいただきました。

特に、平成二十三年七月からの地上デジタル放送に伴い、各居室のテレビを地デジ対応に更新するための予算措置のご配慮をいただき、施設に対してのご支援を賜り心より感謝いたしております。

当日は、早朝からのスポ・レク交流会の参加・観戦で大変お疲れの中、家族の会総会にご出席いただきありがとうございました。

今後とも家族の会のご協力をいただきながら、ご利用者が住みやすい環境や楽しい日常生活となるように努めてまいります。

(中川原)

平成22年度地区別懇談会 日程一覧

日程	地区	会場
8月21日	十勝地区	帯広市 「経済センタービル」
9月18日	道北地区	旭川市 「おびった」
10月16日	道北地区	富良野 (調整中)
10月30日	道央地区	札幌市 「かでの2・7」

多くの皆様のご出席をお待ちしています。

家族の会研修会

六月十九日(土)に保健福祉センター「みなくる」で、平成二十一年度からまつ園家族会・こざくら園家族の会主催による合同研修会を開催しました。講師には今回冬期バンクーバーパラリンピックのアイススレッジ競技で日本に初めて銀メダルをもたらした永瀬充氏(上川圏域障がい者総合相談支援センター「ねっと」地域生活移行支援コーディネーター)をお招きし、「可能性は誰にでも」メダル獲得と社会モデルについてご講演いただきました。

講演の中では、アイススレッジを始めたきっかけから銀メダル獲得に至るまでの経過や、その中で苦悩などについてのお話をいただくことが出来ました。講演の最後には準決勝のカナダ戦や決勝のアメリカ戦の映像や選手村での一コマを撮影したものをスライドショーで流していただき、銀メダルを直に触らせていただけたりと、とても有意義な研修会でありました。「障がい者競技」というものは南富良野町ではまだ普及していない状況です。

今、こざくら園では、ご利用者の重度・高齢化が進み、体育祭がスポーツ交流会に名称を変え競技内容の見直しを図ったなか、ご利用者がスポーツとまでは行かないまでも、体を動かして健康増進に努められるようなきっかけ作りをしていきたいと考えさせられる研修会でした。



(大浦)

法人学習会

八月三日(火)障がい施設関係職員を対象にした当法人主催による平成二十二年第四回学習会を保健福祉センターで開催いたしました。本学習会は、講師には重症心身障害児(者)施設「北海道療育園」の園長(医師)平元先生を招いて「重度障がい者への医療と支援」をテーマにご演いただきました。



講演のポイントとして

- 一、施設職員の医療的ケアの重要性について、医療行為となる処置は医師又は看護師が行わなければならない。
 - 二、医療的ケアにおいては、施設等の職員等が医療行為(経管栄養等の処置など)における一定の研修を受けたスタッフが業務の中で行う事が出来るようになる。利用者(QOL)を改善できる。今年度中に特定した医療行為が医療的ケアとしてスタッフによる行為が可能となる動きがある。
 - 三、ご利用者の骨折について入院等をして寝たきりの生活が続くと骨が弱くなり、骨折しやすくなるため注意が必要である。
 - 四、専門医療機関において脳波検査をすることで発作の種類が判別され、適切な薬が処方されます。そのため、てんかん発作が発症したときは、状況を観察・記録することが重要である。
- その他に、床ずれ、嚥下障害、ダウン症の退行期について解説をいただき、日々の業務の中でも状況観察が大切であると改めて考えさせられました。
- 特に、新型インフルエンザ、ノロウイルスの基本的な感染症対策については、施設内にウイルスを持ち込む確率が最も高いのは、職員であるので十分に注意する。
- 今回の講演を生かしこれからも適切な支援を心掛けていきたいと思えます。

(古田)

自活訓練事業

今年度の自活訓練事業で、自活訓練棟「リーフ」の活用は男性、自活訓練棟「ウイズ」は女性を対象として日々取り組んでいます。

近況をお知らせします。

一、町内会主催の花見会に参加しました。

日にち 五月二十三日(日)

「リーフ」のある栄町町内会は、春の清掃活動のゴミ拾いを午前中に行い、昼食に花見会と懇親会を兼ねて役場重機庫で焼肉を行いました。リーフのメンバーは町内会の皆さんと共に周辺のゴミ拾いを行いました。地域にもしっかりと馴染み、挨拶や会話をしながら会食を楽しんでいました。

「ウイズ」のある岐阜町内会も春の清掃活動のゴミ拾いを午前中に行い、昼食に花見会と懇親会を兼ねて建設会社倉庫で焼肉を行いました。ウイズのメンバーは初めての町内会行事であり、緊張している様子が見られていましたが、時間の経過と共に慣れて笑顔が見られるようになりました。

二、避難訓練を実施しました。

日にち ウイズ 四月二十六日(月)

リーフ 五月二十六日(水)

本年度初めての避難訓練であることから、実施前に勉強会を行いました。メンバーの皆さんは真剣に耳を傾けていました。

避難訓練を実施した結果は、落後者なく避難することが出来、無事に終了しました。

今後も地域生活の移行と自立に向け、様々な地域行事などに参加し支援を行っていきます。

(沖・吉田)



あすなるレソナリー交流会ミニコンサート

七月六日(火)に江差町の「あすなる学園」様の好意により、南富良野町において、「あすなる学園フイギャーバンド」とフィンランドの「レソナリー音楽学院バンド」が来町し、こざくら園・からまつ園・なんぶく香房と交流ミニコンサートが開催されました。

今回の交流事業は、宮城県、秋田県、北海道(南富良野町、美唄市)の各施設を訪問しコンサート活動を行い、そのうちの一箇所として、当町のみなぐろで交流ミニコンサートを開催しました。レソナリー音楽学院とあすなる学園では、知的に障がいを持たれている方々に音楽教育や音楽療法用に開発された音符を色や形で表現した楽譜「フイギャーノート」を使用した音楽活動に取り組んでいます。ステージ上の迫力ある生のバンド演奏に、こ

利用者の皆さんは初めは圧倒されていますが、リズムが演奏されると拍子をしたり、ステージ前で踊ったりと会場内は「あつ」という間に盛り上がりました。また、当施設からは、ハンドベル演奏と日本伝統芸能の幾寅獅子舞を披露し交流を深めました。

音楽を通じて笑顔やダンスなどで、言葉の壁を越え心が通じ合う楽しい時間を過ごしました。(井本)



福祉フィルムフォーラムに参加して

旭川市障害者福祉センター「おびつた」で、六月十九日に開催された「福祉フィルムフォーラム2010」に、ご利用者の自治会「虹の会」役員五名、職員五名が参加しました。

このフォーラムは東川町にある「北海道環境福祉専門学校」のゼミ学生が主体となって企画されたイベントです。福祉に興味のある高校生や一般の方々などに、フィルム上映をおして、今日の福祉のあり方や思いと「障がい」の意味を考え直していただき、福祉の持つ暗いイメージを解消することが目的の一つです。



上映では生まれつき指が備わっていない障がいを抱えている少女が学校生活のなかで障がいと向き合う本人と家族のノンフィクション映画が上映されました。参加した役員さんはそれぞれに色々な思いで鑑賞していたようです。参加者を代表して、虹の会阿部也寸志会長の感想を伺いました。(大井)

からまつ園とこざくら園で、福祉フィルムフォーラムに行っ

て参加しました。そこで、金曜エンターテイメントのビデオを見ました。そこでは、女の子が元気よく縄跳びで皆と遊んでいました。

女の子は、笛を習うのが好きでした。音楽の授業で皆と笛を吹いていましたが、吹くのを女の子はやめて、できない自分と手を隠すようになりました。

女の子の母はいい笛を買い、娘にプレゼントしていました。女の子は皆と笛を吹いて頑張っていました。

このビデオを見て、自分も頑張る決意を学んでいきたいと思えます。(阿部也)



行事予定 8月から12月まで

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 8月 | 10月 |
| ・夏季一時帰省 (13~18日) | ・北・北海道施設協卓球大会 (22日) |
| ・未帰省者外出 (14日) | ・北・北海道施設協スポーツ大会 (6日) |
| ・リパークバザール (27・28日) | ・町内青空市 (中旬) |
| ・町福祉スポーツ大会 (27日) | ・定期健康診断 (19日) |
| 9月 | 11月 |
| ・ふれあい合同園祭 (4日) | ・インフルエンザ予防接種 (調整中) |
| ・野外バイキング (11日) | 12月 |
| ・幾寅神社祭 (17日) | ・『障がいの日週間』啓発行事 (3日) |
| ・町外ショッピング (中旬、下旬) | ・クリスマス会 (第2週目) |
| ・胃がん検診 (中旬) | ・冬季一時帰省 (30~1月5日) |

編集後記

夏ですね。

今年の夏、北海道らしからぬ「気温が高く湿気の多さ」で、毎日朝から汗ばむ日が続いております。そして、ゲリラ豪雨のような激しい雨が降ることも何度かありました。しかし、もうすぐ秋ですね。

話は変わり、今年の夏は皆さんどこへお出掛けを予定されていますか？

私は、高速道路が一部無料化されていますので、この機会に「道の駅」巡りをしようと思っています。三度目の完全制覇目指して北海道をひた走ります。(大浦)